

さくら市 まちづくり報告書

《令和元年度 施策・基本事業評価》

令和3年2月

栃木県さくら市

目次

1. さくら市まちづくり報告書の基本的考え方	3
(1) さくら市まちづくり報告書とは	3
(2) 総合計画と行政評価	3
2. 施策・基本事業の評価	4
(1) 評価の考え方	4
(2) 施策の評価状況	4
(3) 基本事業の評価状況	4
(4) 政策別のまちづくり達成度	5
(5) 施策別のまちづくり達成度	5
3. 市民アンケートによる施策の「満足度」と「重要度」	7
(1) 施策の「満足度」と「重要度」の算出方法	7
(2) 「満足度」と「重要度」の考え方	8
(3) 施策の「満足度」と「重要度」のグラフ	8
(4) 施策の「満足度」と「重要度」の動向	9
4. 成果指標一覧表	10

1. さくら市まちづくり報告書の基本的考え方

(1) さくら市まちづくり報告書とは

第2次さくら市総合計画（以下、「総合計画」と表記します。）は、今後のまちづくりの方向性を示すため、市政運営の最上位計画として平成28年3月に策定されました。

総合計画は基本構想、基本計画、実施計画で構成され、このうち、基本計画では、行政の各分野を政策・施策・基本事業の三階層で体系化し、それぞれに目標（めざす姿）を定めています。

「まちづくり報告書」は本市のまちづくりの状況（目標達成状況、進捗状況）をまとめ、皆さまにお知らせするものです。

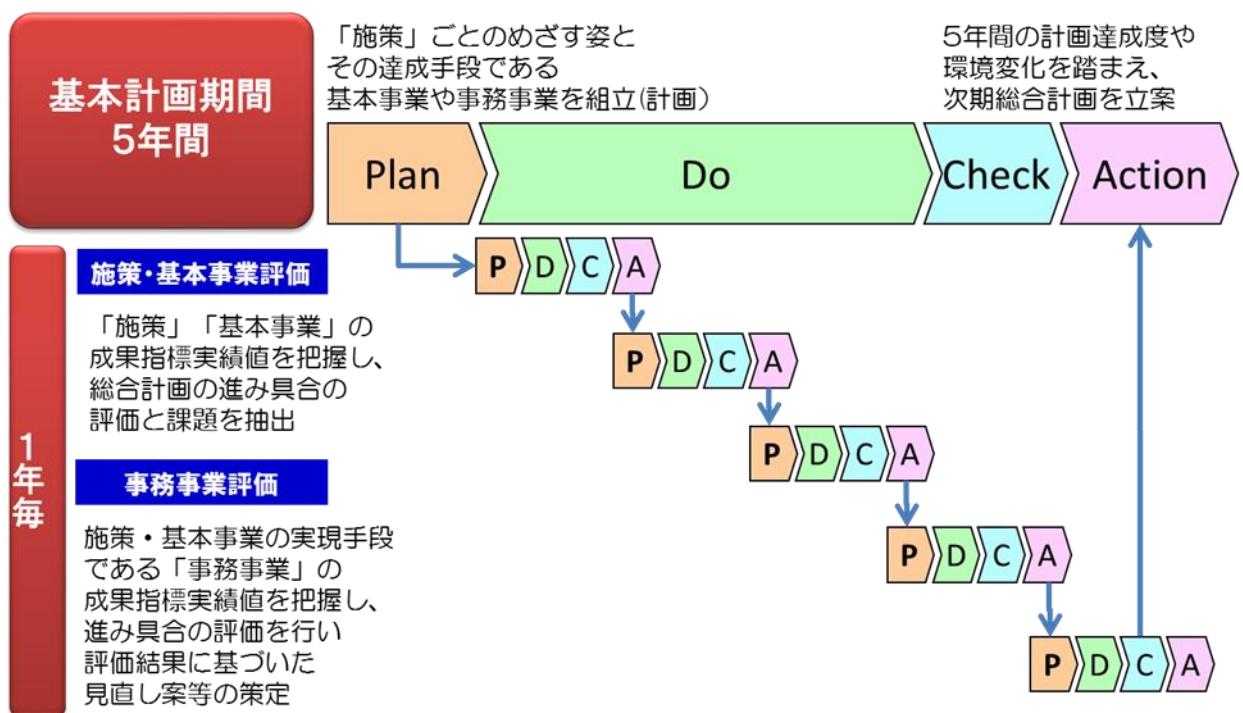
(2) 総合計画と行政評価

総合計画の基本計画は6の政策、27の施策、102の基本事業で成り立っています。このうち施策と基本事業に成果指標を設定し、それぞれに目標値を定めています。これを計画（Plan）として、民間企業などでも業務改革の手法として使われるPDCAの考え方を取り入れた行政評価（施策・基本事業評価）を行い、事業の実施（Do）の結果がどうだったのか、成果指標を活用して評価（Check）し、改善策（Action）を講じることとしています。

この施策・基本事業評価は1年毎に行い、次年度以降の予算配分や事業の組み立てに反映されます。

また、基本計画の計画期間（H28～R2）を通して連続的に実施し、次期の基本計画につなげていくこととしています。

このように、施策・基本事業評価は指標を用いてまちづくりの状況を定量的に評価するものであり、「まちづくり報告書」は、その結果を用いて作成しています。



2. 施策・基本事業の評価

(1) 評価の考え方

評価は、第2次総合計画の策定時に基準としている平成26年度の現状値（基準値）と令和2年度の目標値から、評価する年度の指標値について、順調、横ばい、悪化等を機械的に判断します。

また、市民アンケートなどの指標は統計的な誤差が含まれることや、基準値や目標値が何らかの要因で高すぎた（低すぎた）可能性、その時々々の社会情勢の影響、などの要因を排除しきれないため、成果指標の評価のみで、何らかの行動をするものではありません。

各施策の担当者は、評価を1つの参考にして、これまでの施策の実施状況や、社会情勢などから新たな取組や改善策に反映していきます。

(2) 施策の評価状況

基本計画で設定した、施策の成果指標における令和元年度の進捗状況は、目標値に対して順調な成果をあげていると評価したもの（◎、○）が26指標（65%）、横ばいのもの（△）が7指標（17.5%）、悪化しているもの（×）が7指標（17.5%）となっています。

また、値が取得できなかったことなどによる比較不能な指標が2指標ありました。

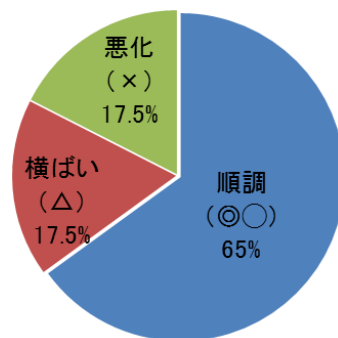


図1. 施策の評価状況

(3) 基本事業の評価状況

施策の下位階層である、基本事業の成果指標における令和元年度の進捗状況は、目標値に対して順調な成果をあげていると評価したもの（◎、○）が114指標（66%）、横ばいのもの（△）が21指標（12%）、悪化しているもの（×）が39指標（22%）となっています。

また、値が取得できなかったことなどによる比較不能な指標が14指標ありました。

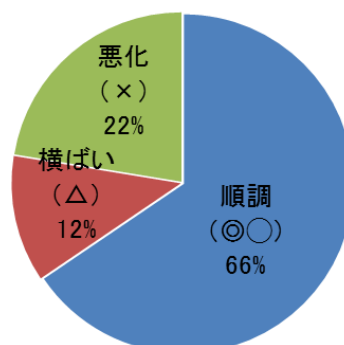








図2. 基本事業の評価状況

(4) 政策別のまちづくり達成度

政策別のまちづくり達成度について、施策の成果指標から評点を算出し、お天気マークで表現したのが表1となります。



表1. 政策別のお天気マーク

政策	評点	マーク	政策	評点	マーク
I 市民とともに築く自立した行財政	2.78		IV 暮らしを支える強固な経済基盤	2.60	
II 福祉の充実と安心の社会保障	2.13		V 機能的で住みやすい安全な都市機能	2.50	
III 文化薫る心豊かな人材の育成	2.75		VI 次代に引き継ぐ豊かな自然と環境	2.00	

評点とお天気マークの考え方

施策・基本事業の評価が「順調」の場合は3点、「横ばい」の場合は2点、「悪化」の場合は1点とし、平均点（満点は3点）を評点として算出します。評点の数値により、表2のようにお天気マークで表しています。

表2. 評点とお天気マーク

評点	マーク	評価	判定区分
2.6～3点		晴れ	順調
2.2～2.6点未満		曇りのち晴れ	改善傾向
1.8～2.2点未満		曇り	横ばい
1.4～1.8点未満		曇りのち雨	悪化傾向
1.4点未満		雨	悪化

(5) 施策別のまちづくり達成度

(4)では施策の成果指標により政策ごとの評点を算出しましたが、同様にして、施策の下位階層である基本事業の成果指標により施策ごとの評点を算出し、天気マークで表現したのが表3となります。

表3. 施策別のお天気マーク

施策	評点	マーク	施策	評点	マーク
I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進	2.50		IV-1 時代とニーズに合致した農林水産業の確立	2.63	
I-2 適正な事務執行とサービス提供	2.78		IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化	2.38	
I-3 効果的・効率的な行政経営	2.30		IV-3 地域資源を活かした観光の振興	2.67	
I-4 透明で健全な財政の確立	2.60		V-1 安全で快適な交通環境の充実	2.67	
II-1 助け合いと支え合いの地域福祉	3.00		V-2 魅力ある良好な市域の形成	3.00	
II-2 生きがいをもたらす高齢者福祉	1.75		V-3 暮らしの安全・安心な社会の構築	2.50	
II-3 自立・支援・社会参加の障がい者(児)福祉	3.00		V-4 いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり	2.25	
II-4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり	1.60		V-5 安全でおいしい水道水の安定供給	2.25	
II-5 安心で安全な子育て環境づくり	2.29		V-6 良好な水資源を保全する下水道の整備	2.86	
II-6 生活を支援する社会保障と社会福祉	3.00		VI-1 次世代に継承する自然環境の保全	2.00	
III-1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進	2.60		VI-2 5Rによる循環型社会の実現	1.38	
III-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承	2.60		VI-3 ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上	2.67	
III-3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育	2.20		/		
III-4 充実した生涯スポーツ社会の実現	2.25				
III-5 市民一人ひとりの人権尊重	2.40				
各お天気マークの数					
順調		13	悪化傾向		2
改善傾向		10	悪化		1
横ばい		1	合計	27	

3. 市民アンケートによる施策の「満足度」と「重要度」

施策・基本事業等の指標にもなっている市民意識や施策ごとの満足度、重要度を把握することを目的に、市民アンケートを毎年度実施していきます。

市民アンケートは満20歳以上の無作為抽出した市民2,000人を対象として、郵送により行っています。（令和元年度状況：回収数1,090通、回答率54.5%）

(1) 施策の「満足度」と「重要度」の算出方法

27の施策について、「満足度」と「重要度」に関する市民アンケート結果をもとに、各選択肢を下記の配点で点数化し、評価点を算出しました。各施策の「重要度」と「満足度」の評価点、および基準値である平成26年度との比較を表4に掲載します。

満足度 選択肢	評価点	重要度 選択肢	評価点
満足	5点	力を入れて欲しい	5点
どちらかといえば満足	4点	できれば力を入れて欲しい	4点
ふつう	3点	今のままでよい	3点
どちらかといえば不満	2点	あまり力を入れる必要はない	2点
不満	1点	力を入れる必要はない	1点
無回答	対象外	無回答	対象外

表4. 施策別の「満足度」と「重要度」

施策	満足度			重要度		
	R1	H26	比較	R1	H26	比較
I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進	2.96	2.86	0.10	3.45	3.50	-0.06
I-2 適正な事務執行とサービス提供	3.07	3.18	-0.10	3.52	3.48	0.04
I-3 効果的・効率的な行政経営	2.92	2.84	0.08	3.61	3.63	-0.02
I-4 透明で健全な財政の確立	2.89	2.77	0.13	3.74	3.77	-0.03
II-1 助け合いと支え合いの地域福祉	3.01	2.92	0.09	3.55	3.60	-0.06
II-2 生きがいをもたらす高齢者福祉	2.97	2.88	0.08	3.67	3.74	-0.07
II-3 自立・支援・社会参加の障がい者(児)福祉	2.94	2.91	0.03	3.67	3.68	-0.01
II-4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり	3.14	3.07	0.07	3.67	3.68	-0.01
II-5 安心して安全な子育て環境づくり	3.11	2.99	0.12	3.84	3.85	-0.01
II-6 生活を支援する社会保障と社会福祉	3.02	2.91	0.10	3.74	3.74	0.00
III-1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進	3.06	3.02	0.05	3.49	3.51	-0.02
III-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承	3.11	3.05	0.06	3.37	3.40	-0.03
III-3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育	3.07	2.96	0.11	3.65	3.70	-0.05
III-4 充実した生涯スポーツ社会の実現	3.08	2.99	0.09	3.43	3.48	-0.05
III-5 市民一人ひとりの人権尊重	3.07	2.98	0.09	3.49	3.47	0.02
IV-1 時代とニーズに合致した農林水産業の確立	2.95	2.81	0.14	3.49	3.54	-0.05
IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化	2.86	2.72	0.14	3.65	3.77	-0.12
IV-3 地域資源を活かした観光の振興	2.89	2.76	0.13	3.62	3.74	-0.12
V-1 安全で快適な交通環境の充実	2.77	2.76	0.01	3.89	3.87	0.02
V-2 魅力ある良好な市域の形成	2.86	2.75	0.11	3.74	3.73	0.00
V-3 暮らしの安全・安心な社会の構築	2.98	2.89	0.08	3.75	3.74	0.01
V-4 いのちと暮らしを守る災害に強いまちづくり	2.99	2.93	0.06	3.88	3.79	0.09
V-5 安全でおいしい水道水の安定供給	3.43	3.30	0.13	3.52	3.60	-0.08
V-6 良好な水資源を保全する下水道の整備	3.19	3.10	0.09	3.59	3.64	-0.05
VI-1 次世代に継承する自然環境の保全	2.99	2.95	0.04	3.73	3.62	0.11
VI-2 5Rによる循環型社会の実現	3.05	3.02	0.04	3.65	3.60	0.05
VI-3 ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上	2.93	2.82	0.11	3.63	3.65	-0.02
最大	3.43	3.30	0.14	3.89	3.87	0.11
最小	2.77	2.72	-0.10	3.37	3.40	-0.12
平均	3.01	2.93	0.08	3.63	3.65	-0.02

(2) 「満足度」と「重要度」の考え方

一般に、「満足度」と「重要度」には、「満足度」が向上すると「重要度」が低下し、「満足度」が低下すると「重要度」が向上するという相関関係があります。

限られた行政資源（人や予算）を有効に活用し、効率的な行政経営をしていくためには、重要度が高い施策に注力していく必要があります。また、満足度が高い施策にこれまでどおり注力していくのか、満足度の低い施策にこれまで以上に注力していくのか等は、個別の状況により判断していきます。

ただし、アンケートによる調査では、その時々や直近の事件が反映されやすいため、結果が一過性のものでないかに注意する必要があります。

（例：交通事故の報道が多いと交通関係の重要度が増加、保育園不足の報道があると、子育ての満足度が低下する等）

(3) 施策の「満足度」と「重要度」のグラフ

表4を「満足度」、「重要度」それぞれの平均値を中心にしてグラフ化したのが図3となります。

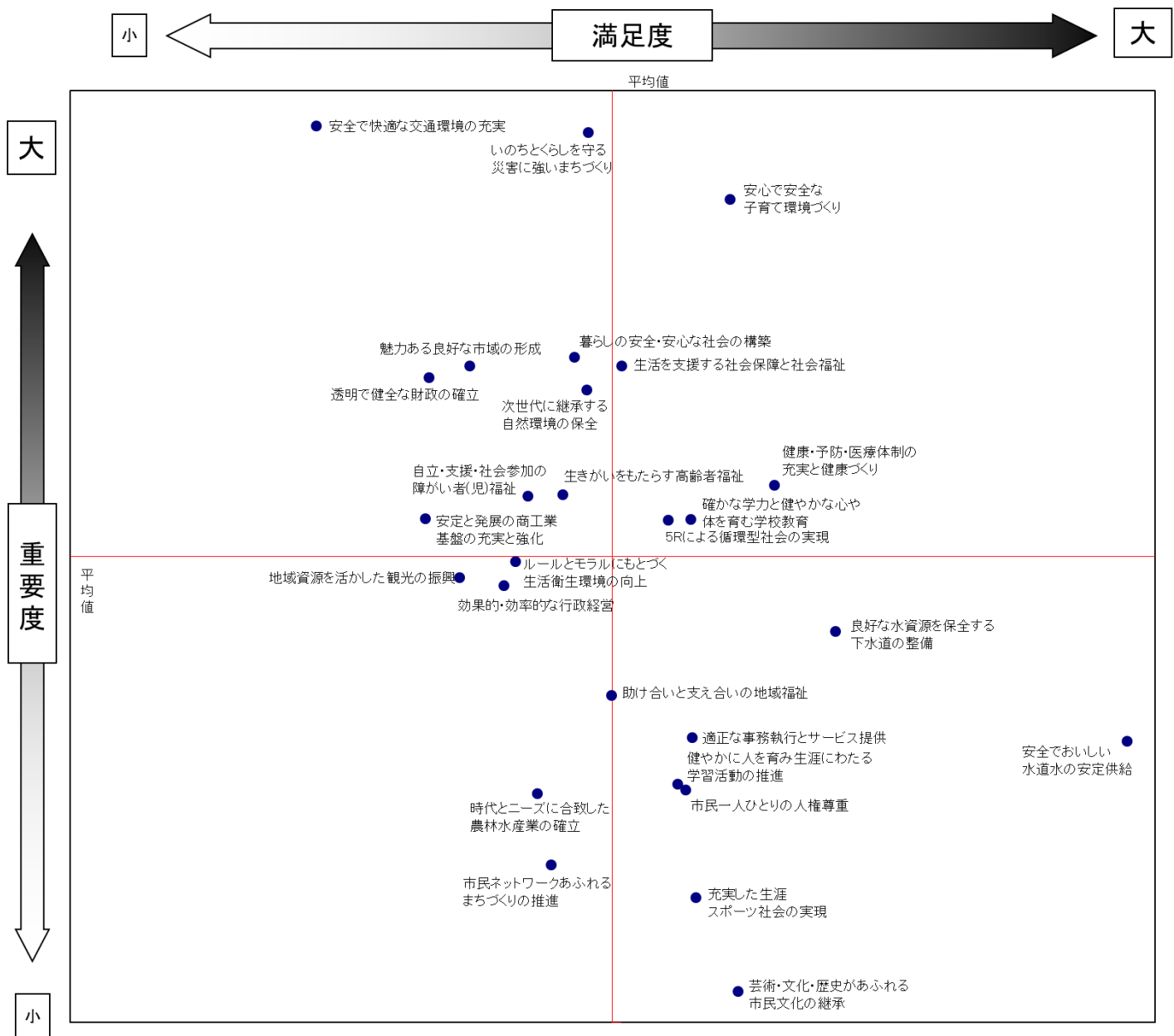


図3. 「満足度」と「重要度」

(4) 施策の「満足度」と「重要度」の動向

平成26年度（基準年）、平成30年度、令和元年度と直近3回に実施した市民アンケートの満足度と重要度に関する結果の上位と下位の変遷を示すと次のような状況となります。

■施策別「満足度」の上位下位の変遷

上位(高い)5項目【H26】			上位(高い)5項目【H30】			上位(高い)5項目【R1】		
1位	V-5 安全でおいしい水道水の安定供給	3.30点	1位	V-5 安全でおいしい水道水の安定供給	3.41点	1位	V-5 安全でおいしい水道水の安定供給	3.43点
2位	I-2 適正な事務執行とサービス提供	3.18点	2位	V-6 良好な水資源を保全する下水道の整備	3.19点	2位	V-6 良好な水資源を保全する下水道の整備	3.19点
3位	V-6 良好な水資源を保全する下水道の整備	3.10点	3位	II-4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり	3.17点	3位	II-4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり	3.14点
4位	II-4 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり	3.07点	4位	I-2 適正な事務執行とサービス提供	3.12点	4位	III-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承	3.11点
5位	III-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承	3.05点	4位	II-5 安心で安全な子育て環境づくり	3.12点	4位	II-5 安心で安全な子育て環境づくり	3.11点
満足度平均点 2.93点			満足度平均点 3.02点			満足度平均点 3.01点		

下位(低い)5項目【H26】			下位(低い)5項目【H30】			下位(低い)5項目【R1】		
23位	I-4 透明で健全な財政の確立	2.77点	23位	I-4 透明で健全な財政の確立	2.91点	23位	I-4 透明で健全な財政の確立	2.89点
24位	IV-3 地域資源を活かした観光の振興	2.76点	24位	V-2 魅力ある良好な地域の形成	2.88点	23位	IV-3 地域資源を活かした観光の振興	2.89点
24位	V-1 安全で快適な交通環境の充実	2.76点	25位	IV-3 地域資源を活かした観光の振興	2.87点	25位	V-2 魅力ある良好な地域の形成	2.86点
26位	V-2 魅力ある良好な地域の形成	2.75点	26位	IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化	2.86点	25位	IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化	2.86点
27位	IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化	2.72点	27位	V-1 安全で快適な交通環境の充実	2.83点	27位	V-1 安全で快適な交通環境の充実	2.77点

■施策別「重要度」の上位下位の変遷

上位(高い)5項目【H26】			上位(高い)5項目【H30】			上位(高い)5項目【R1】		
1位	V-1 安全で快適な交通環境の充実	3.87点	1位	II-5 安心で安全な子育て環境づくり	3.84点	1位	V-1 安全で快適な交通環境の充実	3.89点
2位	II-5 安心で安全な子育て環境づくり	3.85点	1位	V-1 安全で快適な交通環境の充実	3.80点	2位	V-4 いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり	3.88点
3位	V-4 いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり	3.79点	3位	V-4 いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり	3.69点	3位	II-5 安心で安全な子育て環境づくり	3.84点
4位	I-4 透明で健全な財政の確立	3.77点	4位	II-6 生活を支援する社会保障と社会福祉	3.68点	4位	V-3 暮らしの安全・安心な社会の構築	3.75点
5位	IV-2 安定と発展の商工業基盤の充実と強化	3.77点	5位	V-3 暮らしの安全・安心な社会の構築	3.67点	5位	II-6 生活を支援する社会保障と社会福祉	3.74点
重要度平均点 3.65点			重要度平均点 3.58点			重要度平均点 3.63点		

下位(低い)5項目【H26】			下位(低い)5項目【H30】			下位(低い)5項目【R1】		
23位	I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進	3.50点	23位	III-4 充実した生涯スポーツ社会の実現	3.46点	23位	III-5 市民一人ひとりの人権尊重	3.49点
24位	III-4 充実した生涯スポーツ社会の実現	3.48点	24位	IV-1 時代とニーズに合致した農林水産業の確立	3.45点	23位	IV-1 時代とニーズに合致した農林水産業の確立	3.49点
25位	I-2 適正な事務執行とサービス提供	3.48点	25位	III-5 市民一人ひとりの人権尊重	3.42点	25位	I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進	3.45点
26位	III-5 市民一人ひとりの人権尊重	3.47点	26位	I-1 市民ネットワークあふれるまちづくりの推進	3.36点	26位	III-4 充実した生涯スポーツ社会の実現	3.43点
27位	III-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承	3.40点	27位	III-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承	3.33点	27位	III-2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承	3.37点

4. 成果指標一覧表

評価の凡例：◎(目標値達成)、○(順調)、△(横ばい)、×(悪化)、－(評価不能)

※網掛けは施策の成果指標、それ以外は基本事業の成果指標です。

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)
I-1		市民ネットワークあふれるまちづくりの推進	市民と行政の協働によるまちづくりがされていると思う市民の割合	%	◎	41.6	58.6	62.5	44.0
			協働により市政が運営されていると感じる職員の割合	%	◎	54.9	58.9	59.1	57.0
	1	市民と行政の協働の体制づくり	市民との協働により実施した事務事業数	件	◎	34	44	52	34
			委員を公募した委員会等の割合	%	×	23.3	23.5	10.2	25.0
	2	市民活動の活性化	ボランティアをしている市民の割合	%	△	10.3	11.4	10.9	13.0
			市民活動団体数	団体	◎	73	86	88	73
	3	地域コミュニティ活動の活性化	自治会活動に参加している市民の割合	%	◎	44.3	49.6	46.9	46.0
市民の自治会(行政区)加入率			%	◎	71.9	70.4	69.8	68.0以上	
I-2		適正な事務執行とサービス提供	行政事務の執行において法令違反等があった件数	件	◎	0	0	0	0.0
	1	快適な窓口サービスの推進	窓口の職員対応に満足している市民の割合	%	◎	87.8	92.3	93.3	90.8
			個人番号及び個人番号カードを活用した独自利用の件数	件	○	0	3	3	10
	2	開かれた議会運営	議会で議論・議決した内容を知っている市民の割合	%	×	28.9	25.3	23.3	35.0
	3	適正な財務会計の執行	定例監査、決算審査で財務会計行為が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0
	4	適正な選挙事務の執行	選挙事務が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0
	5	適正な会計処理	現金出納検査で会計処理が不適正とされた件数	件	◎	0	0	0	0
	6	外国人向けのサービス提供	行政等が外国人向けに発行した刊行物の件数	件	◎	5	11	12	10
	7	適正な個人情報の管理	個人情報の漏えい件数	件	◎	0	0	0	0
8	適正な電算システムの管理	基幹電算システムがダウンした件数	件	◎	0	0	0	0	
I-3		効果的・効率的な行政経営の推進	効果的・効率的なまちづくり(行政経営)が進められていると思う市民の割合	%	◎	44.8	51.5	55.0	50.0
			効果的・効率的なまちづくり(行政経営)が進められていると思う職員の割合	%	×	50.4	46.3	47.0	60.0
	1	成果を重視した行政経営の確立	施策や事業の成果(指標)を意識して業務を行っている職員の割合	%	×	81.7	75.0	75.0	85.0
			行政評価と予算・決算作業が連携していると思う職員の割合	%	×	57.4	52.0	52.6	70.0
	2	職員能力と組織力の向上	人事評価・研修・OJTが有効に機能していると思う職員の割合	%	◎	46.3	54.2	56.3	54.8
			組織・職員が市民・地域の問題や行政課題に関し迅速かつ適切に解決できていると思う職員の割合	%	△	65.1	67.8	67.1	70.6
			部門内・部門間のコミュニケーション・協力体制が良好だと思える職員の割合	%	◎	55.9	67.3	68.0	62.8
3	職員定員の適正管理	人口1,000人あたりの職員数(公営企業等除く)	人	◎	6.60	6.85	6.88	6.94以下	

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)
I-3	4	広域行政・交流の取組みの促進	広域交流などにより相互補完しているサービスメニュー件数	件	◎	18	19	19	18
			姉妹都市との交流イベントなどの件数	件	×	11	10	6	13
	5	広報・広聴の充実	市政情報の提供の満足度	%	◎	83.1	85.2	84.5	84.0
			多様な市民の声をまちづくり等に取り入れる仕組みができていると思う市民の割合	%	◎	37.0	45.6	50.7	38.0
I-4		透明で健全な財政の確立	実質赤字比率	%	◎	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし
			連結実質赤字比率	%	◎	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし	赤字額なし
			実質公債費比率	%	◎	9.4	7.2	7.3	9.4
			将来負担比率	%	◎	将来負担比率なし	将来負担比率なし	将来負担比率なし	将来負担比率なし
	1	自主財源の確保	自主財源比率	%	○	52.2	52.0	52.5	53.0
			市税収納率(国民健康保険税を除く)	%	◎	92.3	97.9	98.4	94.1
	2	公共施設の適正化	普通財産のうち未利用地の占める割合	%	○	44.3	43.9	43.7	42.0
	3	計画的・効率的な財政運営	経常収支比率	%	×	85.9	94.7	91.4	85.9
市民一人当たり市債残高			円	○	380,718	372,612	358,769	350,000	
II-1		助け合いと支え合いの地域福祉	地域で支え合っていると思う市民の割合	%	×	64.3	58.6	58.5	66.8
	1	地域福祉の理解促進	地域福祉活動・福祉ボランティアを行っている市民の割合	%	○	9.4	11.3	10.9	11.9
			福祉関連NPO・ボランティア団体数	団体	◎	38	60	55	35
	2	地域福祉活動の推進	各行政区で実施している地域福祉事業数	事業	◎	13	24	25	16
			地域福祉事業を行っている行政区の割合	%	◎	16.0	41.3	42.7	17.3
3	見守り活動の推進	見守り活動の実践者数	人	○	60	52	65	90	
II-2		生きがいをもたらす高齢者福祉	生きがいを持っている高齢者の割合	%	△	82.9	80.4	82.8	85.0
	1	高齢者の社会参加の推進	社会参加している高齢者の割合	%	×	44.3	45.1	39.6	55.0
			住みよいと思う市民の割合	%	×	75.4	68.3	71.1	80.0
	2	介護予防対策の充実	自立している高齢者の割合	%	×	88.4	84.1	83.8	89.0
			健康によい生活習慣の平均実践項目数	個	○	5.37	5.59	5.42	6.00
介護予防教室参加者数			人	×	629	571	350	700	

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)
II-2	3	介護サービス体制の整備	介護サービス体制が充実していると思う高齢者の割合	%	◎	77.3	82.8	80.9	80.0
			認知症サポーター数	人	◎	1,381	4,099	5,425	2,500
4	在宅福祉サービスの充実	在宅福祉サービスが充実していると思う高齢者の割合	%	×	27.2	21.7	21.9	28.6	
II-3	1	障がい者（児）支援体制の充実	自立・支援・社会参加の障がい者（児）福祉	%	△	97.3	97.1	97.0	98.0
			在宅で生活している障がい者（児）の割合	%	△	97.3	97.1	97.0	98.0
			健診・相談をきっかけとして要支援とされた人数	人	-	73	87	63	-
	2	自立した生活の支援	経過観察・療育等でケアをしている児童数	人	-	5	11	8	-
			健診・相談で早期発見された児童数	人	-	4	3	5	-
	3	地域生活の支援	自立支援給付事業利用者数、障害児通所支援利用者数	人	◎	4,626	6,182	7,020	4,650
			施設入所・入院から在宅生活への延べ移行人数	人	◎	4	5	11	6
4	社会参加の促進	地域生活支援事業利用者数	人	◎	1,033	1,249	1,322	1,050	
		就労相談・支援により就労した障がい者数	人	◎	0	3	5	3	
2	社会参加の促進	障がい者（児）の社会参加事業参加者数	人	◎	475	531	534	500	
		健康・予防・医療体制の充実と健康づくり	%	△	76.1	77.4	74.6	80.0	
II-4	1	自主的な健康づくりの推進	自身が健康だと思う市民の割合	%	△	76.1	77.4	74.6	80.0
			健康により生活習慣を実践している市民の割合	%	△	81.3	80.5	79.7	85.0
	2	保健予防対策の充実	がん健診により精密検査が必要とされた市民の精密検査受診率	%	△	79.1	80.0	80.2	85.0
			乳幼児健診により精密検査が必要とされた乳幼児の精密検査受診率	%	×	95.0	77.5	89.5	100.0
	3	地域医療体制の整備	かかりつけ医がいる市民の割合	%	△	77.2	75.7	76.1	80.0
市内医療機関での救急患者受入人数			人	×	3,667	2,565	2,551	3,800	
II-5	安心で安全な子育て環境づくり	子育て支援のサービスや環境が充実していると思う保護者の割合	子育て支援のサービスや環境が充実していると思う保護者の割合	%	○	80.1	81.8	82.3	83.0
			出生数	人	×	416	334	367	416
			(出典：栃木県人口動態統計)						
	1	未就学児・児童の教育・保育サービスの充実	子育てが楽しいと思う保護者の割合	%	○	93.6	97.3	93.8	94.0
			保育所・認定こども園・地域型保育事業所の待機者数（4月1日現在）	人	×	0	16	27	0
2	子どもの遊び場の確保	学童保育の待機者数（3月31日現在）	人	◎	0	0	0	0	
		子どもが放課後等安心して遊ぶ場所があると思う保護者の割合	%	◎	45.0	50.7	51.6	45.0	

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)
II-5	3	子育てのための経済支援	児童医療費助成登録認定率	%	○	93.0	98.4	98.0	100.0
			経済的負担軽減サービスを受けているひとり親家庭数	世帯	-	373	356	358	-
			婚姻数	件	×	216	180	203	220
	4	子育て不安の解消	子育てについて気軽に相談できる相手がいる保護者の割合	%	△	98.6	99.2	98.5	98.6
市の子育て相談・情報交換の場を知っている保護者の割合			%	○	53.0	62.8	66.3	70.0	
II-6		生活を支援する社会保障と社会福祉	社会福祉(社会保障)の充実に関する市民満足度	%	◎	82.1	88.4	86.0	85.1
	1	医療保険制度の健全運営	国民健康保険税収納率	%	◎	88.3	94.9	95.3	91.0
			後期高齢者保険料収納率	%	○	97.8	99.6	99.3	99.4
	2	介護保険制度の健全運営	介護保険料収納率	%	◎	84.1	92.2	94.1	86.0
	3	生活困窮者の支援	市民1,000人あたりの生活保護者数	人	-	6.48	6.72	6.25	-
			自立による生活保護廃止件数	件	◎	4	7	14	4
			支援により生活困窮状態が改善された件数	件	○	0	8	3	20
4	安全で快適な公営住宅の供給	長寿命対策を実施した公営住宅戸数の割合	%	○	34.6	43.3	45.2	100.0	
III-1		健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進	自主的な生涯学習活動に参加している市民の割合	%	△	30.4	32.3	29.0	32.0
	1	学ぶ機会の充実	生涯学習講座・イベントの参加者数	人	◎	18,291	22,146	21,926	18,500
			図書館の利用者数	人	◎	147,626	165,477	165,827	150,000
			生涯学習の機会や場の満足度	%	◎	78.1	80.0	83.1	79.0
	2	青少年健全育成体制の強化	青少年の健全育成に関心を持っている市民の割合	%	×	63.6	48.8	48.4	65.0
3	家庭教育支援の充実	家庭教育支援に関する講座や学級・研修会等の参加者数	人	○	1,484	1,671	1,735	1,750	
III-2		芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承	芸術・文化・歴史に関する事業に参加した市民の割合	%	◎	43.7	50.1	46.9	43.7
	1	芸術文化活動の推進	文化事業参加者数	人	×	15,441	4,473	3,380	6,000
	2	歴史的文化的資源の保存・継承・利活用	指定文化財に親しんだ市民の割合	%	◎	30.9	31.2	31.5	31.5
	3	博物館の整備・充実	来館者数	人	○	18,032	53,923	22,706	23,000
			収蔵資料数	件	◎	5,777	7,313	7,316	6,000
企画展観覧者の満足度			%	◎	92.3	96.0	98.0	93.0	

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)
Ⅲ-3		確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育	学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合	%	-	86.7	-	-	90.0
			学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合	%	-	91.2	-	-	95.0
	1	確かな学力の育成	基礎的な学力が身についている児童の割合	%	×	94.2	87.9	91.6	95.0
			基礎的な学力が身についている生徒の割合	%	◎	71.9	68.6	75.6	75.0
			研修や自己研鑽に積極的な教職員の割合	%	×	43.6	29.6	17.4	50.0
	2	豊かな心と健やかな体の育成	不登校者数の割合(小学校)	%	×	0.7	0.8	1	0.4
			不登校者数の割合(中学校)	%	×	4.2	5.2	5.4	3.6
			図書室で借りた図書の冊数(小学校)	冊	◎	33.5	46.7	38.3	36.0
			図書室で借りた図書の冊数(中学校)	冊	○	6.7	9.6	8.7	10.0
	3	安全・安心な教育環境の実現	小中学校校舎・施設の長寿命化改修率	%	○	0.0	12.5	12.5	25.0
			施設維持管理上の不備による教育支障件数	件	◎	0	0	0	0
			登下校時の児童生徒の事件・事故件数	件	◎	9	4	4	5
学校経営・学習支援などにかかわったボランティアの活動件数			件	-	581	-	-	600	
Ⅲ-4		充実した生涯スポーツ社会の実現	週1回以上スポーツ、レクリエーションをしている市民の割合	%	○	30.2	33.2	31.5	33.0
	1	生涯スポーツ活動の充実	各種スポーツ教室・大会の参加者数	千人	○	129	143	136	145
	2	スポーツ施設の整備	各体育施設の年間利用者数	千人	×	315	370	292	350
	3	スポーツ団体・指導者の育成	スポーツ団体数	団体	△	429	429	429	440
指導者数			人	◎	312	374	412	340	
Ⅲ-5		市民一人ひとりの人権尊重	人権が侵害された市民のうち、相談できた市民の割合	%	◎	39.6	38.4	50.0	50.0
	1	人権尊重意識の啓発	この一年に人権を侵害する言動をした市民の割合	%	×	8.2	8.2	10.8	7.0
	2	男女共同参画社会の推進	委員会等における女性委員の割合	%	◎	23.3	31.7	30.7	27.0
			家庭における男女が平等だと思う市民の割合	%	△	67.5	66.5	65.8	69.0
			自治会等の地域活動の場で男女が平等だと思う市民の割合	%	◎	42.2	52.2	50.9	47.0
			男は仕事、女は家庭という固定的性別役割にとられない市民の割合	%	◎	32.7	74.1	78.0	35.0
	3	子どもの人権尊重	子どもの人権確保へのケース管理数	件	-	113	67	93	-
			児童虐待の一時保護・措置件数	件	-	23	19	6	-
	4	配偶者間の人権尊重	配偶者の人権確保へのケース管理数	件	-	10	38	38	-
			配偶者からの暴力相談者の一時保護・措置件数	件	-	1	3	3	-
5	高齢者の人権尊重	高齢者の人権確保へのケース管理数	件	-	64	23	36	-	
		高齢者の一時保護・措置件数	件	-	3	1	1	-	

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)	
IV-1	1	時代とニーズに合致した農林漁業の確立	農林水産業総生産額 (出典：栃木県市町村民経済生産)	百万円	○	6,646 (H24)	6,685	6,503	6,646	
			付加価値の高い農林水産業の確立	6次産業化実践者数	名・団体	◎	6	15	15	8
			産地化・ブランド化した農林水産物・製品数	品	○	1	2	2	3	
	2	持続可能な農林水産業構造の構築	耕作放棄地面積	ha	◎	46	28	30	46	
			認定農業者数	名	×	370	340	338	388	
			新規就農者数	人	△	5	12	5	13	
			生産性向上への農地集約または集積化が成された面積	ha	◎	49	175	226	52	
	3	地産地消等による農林水産業への理解推進	直売所及び加工センター総販売額	百万円	◎	909	1,122	1,154	1,054	
学校給食における地元食材活用額			千円	◎	1,785	3,243	3,297	1,785		
IV-2		安定と発展の商工業基盤の充実と強化	商業生産額 (出典：栃木県市町村民経済生産)	百万円	×	(10,089) 10,900 (H24)	10,205 (H28)	9,788 (H29)	12,000	
			工業生産額 (出典：栃木県市町村民経済生産)	百万円	◎	(62,126) 53,002 (H24)	68,863 (H28)	77,601 (H29)	57,600	
	1	商業の活性化	日用品等を買う場所が近所になって困っている市民の割合	%	△	19.9	20.3	19.9	15.0	
			商業の事業所数 (出典：経済センサス、商業統計調査)	件	-	334 (H24)	-	-	334	
	2	工業の振興	工業の事業所数 (出典：工業統計調査)	件	×	108 (H25)	104	100	115	
			新規または増設した工場の数 (工場誘致条例に基づく補助企業数)	件	○	7 (H22～H26累計)	1	2	10 (5年間累計)	
	3	中小企業の経営基盤の強化支援	商工会の会員企業数	件	×	1,017	963	947	1017	
	4	まちなかのにぎわい創出	氏家駅周辺に賑わいがあると思う市民の割合	%	◎	14.3	15.2	17.3	16.5	
			喜連川支所周辺に賑わいがあると思う市民の割合	%	○	7	5.2	7.3	8.0	
	5	雇用環境の充実	就業者数 (個人市民税の納税者数)	人	○	18,248	19,303	19,443	19,500	
			新規創業者数 ※累計	人	○	-	13	19	23 (H27～R02累)	
IV-3		地域資源を活かした観光の振興	観光客入込数	人	◎	700,428	1,895,294	1,954,537	1,900,000	
			観光客宿泊数	人	◎	60,743	110,483	109,469	80,000	
	1	観光PRの充実	観光協会ホームページアクセス件数	人	◎	51,000	98,763	207,709	100,000	
			マスコミへの露出件数 (マスコミ等の取材による露出件数)	人	△	87	94	88	150	
			ホームページのアクセス件数 (市HP・移住促進HP)	件	○	671,491	705,566	718,911	740,000	
	2	観光資源の充実と創出	観光資源のリニューアル件数	件	△	1	1	1	2	
			新たな観光資源数	件	○	-	10	12	15 (5年間累計)	
	3	観光施設の維持管理	観光施設の不具合・トラブルによる不稼動日数	日	◎	50	0	0	40	

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)
V-1		安全で快適な交通環境の充実	公共交通（鉄道・バス・乗合タクシー）に満足している市民の割合	%	×	60.4	57.7	54.7	70.0
			道路整備に満足している市民の割合	%	△	72.1	76.3	72.9	75.0
	1	公共交通機関の確保	買い物・通院等に交通手段がなく困っている市民の割合	%	△	13.0	13.4	13.3	10.0
			通勤・通学に困っている、不便だと思ふ市民の割合	%	△	25.9	26.5	25.8	25.0
	2	安全で快適な道路の整備	市道改良率	%	○	83.7	84.4	84.6	84.7
			歩行者自転車通行帯の整備済み延長	m	○	52,876	57,861	58,039	60,000
	3	道路・橋梁の長寿命化と維持管理	市が道路管理者として責任を負った事故件数	件	◎	2	0	0	0
			長寿命化対策として舗装補修を実施した道路延長（累積）	m	○	0	4,346	5,989	10,000
V-2		魅力ある良好な市域の形成	良好な住生活環境のための計画的な土地利用ができていると感じる市民の割合	%	○	49.7	52.3	54.7	55.0
	1	良好な街並み・景観の形成	まちなみの景観が良好だと思う市民の割合	%	◎	78.5	83.8	83.1	80.0
			土地利用調整基本計画に適合しない開発件数	件	◎	0	0	0	0
	2	定住・転入の促進	転入超過数	人	◎	3	-63	98	24
			住宅建築棟数	棟	◎	303	321	241	1,380 (5年間累計)
			民間開発による供給区画数 (新規に1,000㎡以上の宅地開発をされた分譲区画数)	区画	◎	33	44	56	232 (H27～R02累計)
	3	みどりの憩い空間の形成	公園・街路樹等が適正に管理されていると思う市民の割合	%	◎	79.8	85.4	85.0	80.0
			市が公園管理者として責任を負った事故件数	件	◎	0	2	0	0
V-3		暮らしの安全・安心な社会の構築	交通事故発生件数	件	×	112	106	116	85
			全刑法犯数	件	◎	348	231	198	230
	1	交通安全意識の向上	交通ルールを順守している市民の割合	%	○	93.7	95.1	94.3	95.0
	2	交通安全対策の推進	交通安全施設整備対応率（カーブミラー・信号・ガードレール・道路照明）	%	◎	83.3	77.7	93.8	85.0
	3	防犯意識の向上	自主防犯団体数	団体	×	30	30	24	30
	4	防犯対策の推進	防犯灯設置数	基	◎	2,931	3,394	3,418	3,300
	5	消費者行政の充実	この一年間に消費生活関係のトラブルにあった市民の割合	%	△	4.0	5.2	6.0	2.0
			クーリングオフ制度を知っている市民の割合	%	○	83.3	87.5	87.2	88.3

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)
V-4		いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり	災害被害戸数	戸	◎	36	0	5	36.0
	1	市民の防災意識の向上	防災対策平均実践項目数	個	○	3.86	3.92	3.95	4.00
	2	地域防災力の強化	規約に基づいた自主防災組織の結成数	団体	○	6	24	28	30
			防災訓練等に参加した防災士の延べ人数	人	◎	40	25	142	60
			地域協議会の数(累計)	地区	△	0	0	0	3 (5年間累計)
	3	行政による防災体制の整備	自主参集しなければならない災害規模を正しく理解している市職員の割合	%	△	80.2	84.5	80.6	90.0
			災害時の情報伝達手段の機能不全件数	件	◎	0	0	0	0
4	雨水・浸水対策の整備	道路冠水箇所数	箇所	×	0	16	34	0	
		建物浸水箇所数(床下以上)	箇所	×	0	38	8	0	
V-5		安全でおいしい水道水の安定供給	水道普及率	%	○	90.3	91.9	91.4	94.0
			水道に対する満足度	%	○	90.6	94.8	94.1	95.0
	1	水道施設の維持管理・更新	有収率	%	×	80.0	74.6	72.9	86.0
			石綿管の残存延長	m	○	25,254	22,355	21,478	16,254
	2	水道未普及地域の解消	未普及地域における配水管整備率(計画延長に対する整備延長割合)	%	○	13.5	71.5	85.9	95.0
3	水道事業の安定経営	経常収支比率	%	△	112.6	111.1	110.4	115.0	
V-6		良好な水資源を保全する下水道の整備	水洗化率(氏家地区)	%	◎	83.4	93.8	94.9	86.8
			水洗化率(喜連川地区)	%	◎	64.7	69.5	70.8	70.6
	1	下水道の整備	下水道整備済区域内人口(氏家地区)	人	○	18,463	19,000	19,126	21,229
			下水道整備済区域内人口(喜連川地区)	人	◎	2,646	2,708	2,650	2,650
			下水道普及率(氏家地区)	%	△	55.0	55.8	56.0	62.2
			下水道普及率(喜連川地区)	%	◎	24.6	26.9	26.9	25.2
	2	施設の維持管理	機能不全件数(氏家地区)	日	◎	0	0	0	0
機能不全件数(喜連川地区)			日	◎	0	0	0	0	
3	下水道事業の安定経営	経常収支比率	%	◎	100.0	191.4	131.7	100.0	

施策	基本事業	施策及び基本事業名称	成果指標名	単位	R1評価	H26年度(基準値)	H30年度	R1年度	目標値(R2)		
VI-1		次世代に継承する自然環境の保全	市が自然環境に恵まれていると思う市民の割合	%	○	90.1	93.7	94.7	95.0		
			地球温暖化対策等に効果的な行動の平均実践項目数	個	△	4.00	3.98	4.07	5.00		
	1	環境保全活動の推進	環境保全活動に参加している市民の割合	%	×	1.6	2.2	1.4	2.0		
			ISO14001などを取得している市内事業所数	件	◎	7	10	10	8		
	2	CO2抑制と再生可能エネルギーの推進	太陽光やヒートポンプなどの新エネルギーを導入している市民の割合	%	◎	14.9	20.6	19.3	16.0		
			省エネルギーに取り組んでいる市民の割合	%	△	89.6	90.7	91	95.0		
			市域での年間電力使用量	Gwh	-	360	-	-	339		
3	緑地の保全・育成	森林の整備面積	ha	×	70	12	14	77			
VI-2		5Rによる循環型社会の実現	家庭系・事業系ごみの排出量	t	×	10,653	11,053	10,894	10,440		
			1	廃棄物抑制の推進	1日1人当りの家庭系可燃ごみ排出量	g	×	481	504	495	439
		事業系可燃ごみの排出量	t		△	2,927	2,937	2,939	2,868		
	2	不法投棄等の不適正処理の抑制	不適正処理事案発見件数(不法投棄・野焼き)	件	×	50	97	68	46		
	3	リサイクル活動の推進	家庭系資源物回収量	t	×	1,156	855	848	1,185		
			資源化率	%	×	13.2	9.4	9.4	14.0		
	4	ごみの収集・処理体制の適正化	市民1人当りのごみ収集処理コスト	円	×	7,057	5,307	7,629	5,129		
			ごみ収集に関する不具合・事故件数	件	×	13	22	35	10		
5	リユース(再使用)活動の促進	再利用品・中古品を利用している市民の割合	%	◎	45.5	44.7	46.4	46.0			
VI-3		ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上	清潔で衛生的な生活環境だと思える市民の割合	%	△	81.8	83.1	80.8	85.0		
			1	公害防止対策の推進	環境基準達成率(水質)	%	◎	85.5	87.3	91.3	91.0
					環境基準達成率(大気)	%	◎	100.0	100.0	100.0	100.0
	環境基準達成率(騒音)	%			◎	100.0	100.0	100.0	100.0		
	2	生活排水対策の推進	合併処理浄化槽へ転換した世帯数(市の補助対象のみ)	世帯	×	26	12	16	33		
	3	犬・猫の適正飼養の推進	犬・猫に関する年間苦情件数	件	◎	56	18	14	31		
4	美化運動の推進	公共の場所が清潔に保たれていると感じる市民の割合	%	○	69.1	70.8	73.4	80.2			